

子どもが伸びる家庭学習

子どもの「学ぶ力」を 育てるために



岡山県マスコット
ももち

保護者の皆様へ

子どもたちが、変化の激しいこれからの社会に主体的に関わり、感性を豊かに働かせながら、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となることが、私たち大人の願いです。

そして、子どもたちが心豊かに、たくましく、人生や未来を切り拓くためには、「自分の夢や目標に向け生涯にわたって自ら学び続けることができる力」が必要です。この「学ぶ力」を育むに当たっては、ひら学校だけでなく、家庭や地域と一体となった支援が必要です。

本リーフレットは、子どもの「学ぶ力」を育むために、家庭での学習におけるポイントをまとめています。保護者の皆様からお子様への関わりや声掛けの参考になさってください。

また、学習において、タブレット端末を活用する場面も増えています。入学や進級などの様々な機会に、家庭での学習や生活について、子どもと保護者で話し合い、家庭学習を充実させていきましょう。



岡山県マスコット
うらっち

小学校入学に当たって



子どもの「学ぶ力」を育む上で、小学校低学年の時期に、家庭においても学ぶ意欲を高め、家庭学習の習慣を身に付けておくことが大切です。

低学年のうち、一人で学習の仕方などを決めることは難しく、家庭のサポートが欠かせません。子どもの学習の様子を見守り、困っていることはないかを声掛けしながら、学習に主体的に取り組む力を身に付けられるようにしましょう。また、学年が上がるにつれ、宿題だけでなく自主学習に取り組めるように、学習内容や量を自分で考えるなど、子どもが学び方を決める場面を増やしていきましょう。

Point1

子どもとの会話やふれあいを大切にしましょう！

普段の会話やふれあいなど、一緒に過ごす時間が子どもの心の安定につながり、学ぶ意欲を育てます。学校の様子や子どもが興味を持っていることなどを聞いてみましょう。

学校でどんなことをしたの？



好きなことは？

Point2

学習環境を整えましょう！

学習に集中できる環境づくりを子どもと一緒に、子どもが学び方を自分で決められるようにサポートしましょう。

○場所…学習する場所を決める。

学習に必要なものを準備し、必要ないものは取り除く。

○時間…学習を始める時間と学習量のめやす（時間やページ数等）を決める。

漢字ドリルの次は、何をしようかな？



Point3

子どもの学習の様子を見守り、頑張りを認めましょう！

子どもに、家庭学習の習慣を身に付けさせるためには、最初が肝心です。一人で学習できるようになるまでは、学習したプリントやノートを見るなどして学習の様子を把握しましょう。また、子どもの頑張りを認めたり、励ましたりする声掛けをしましょう。

粘り強く取り組む姿勢を支える声掛けが大切です。



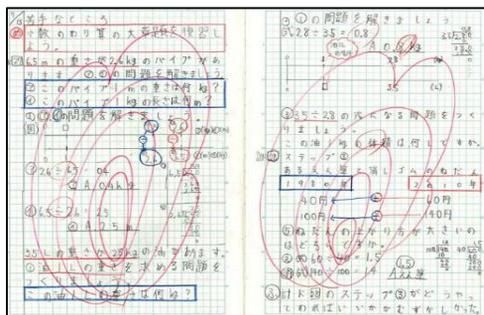
ステップアップ

宿題 + 自主学習

学年が上がると

「まず宿題。次に自主学習。」といった家庭学習の習慣を身に付けさせましょう。授業の予習や復習（例1）をしたり、興味があることを調べ（例2）たりするなど、自分で学習内容を考えて取り組むことで、学ぶ意欲が高まります。

自主学習の例1



「めあて」「振り返り」が書かれた算数の復習

自主学習の例2



昆虫についてのレポート

中学校入学に当たって



子どもの「学ぶ力」を育む上で、自分の夢や目標の実現に向け、今どんな力を身に付けておきたいのか、そのためにどのような学習をしておくか、子ども自身に考えさせることが大切です。

中学校入学は環境が大きく変わることもあり、子どもは期待と共に、不安や戸惑いを感じるなど、気持ちが揺れ動きやすくなります。また、口は出してほしくないけれど、自分のことを見てほしいという思春期ならではの関わり方の難しさがあるかもしれませんが、自立した大人への成長段階と捉え、温かく見守り支えていきましょう。

Point1

規則正しい生活習慣をサポートしましょう！

メディアやスマホ等の視聴時間が増え、睡眠時間が十分でないと、集中力に欠け、学校生活に影響を与えることがあります。学ぶ意欲の基本は、規則正しい生活習慣にあります。安心して学習に向かえる環境づくりをサポートしましょう。

スマホ等の置き場所を決めておくといいね。



Point2

計画的に学習を進める習慣を身に付けさせましょう！

中学校では、教科ごとに違う先生が担当したり、学習内容の増加に伴い、授業の進度が速くなったりするなど、小学校から大きな変化があります。また、宿題についても、日々の課題に加え、週末課題や定期考査前の課題など、提出期限が決められているものもあります。中学校生活を軌道に乗せる早い段階に、優先順位を自分で決め計画的に学習を進める習慣を身に付けられるような声掛けをしましょう。

Point3

将来の夢や進路を見据えた学習ができるよう応援しましょう！

子どもは3年間の中学校生活を通して、将来の夢や目標、卒業後の自分の進路について自分と向き合います。将来の夢や目標を持ち、進路が定まると、学ぶ理由が明確になり、計画を立てて学習を進めやすくなります。

好きなことや興味を持っていることなどについて、子どもの思いや考えを聞くなどの機会を持ち、一緒に考えたり、子どもの学習の様子を見守り、認めたり励ましたりしましょう。

家族と一緒に書店に出掛けたら、進路の話題になって、相談できたよ。



ステップアップ

自分で学習を調整する

自分で課題を解決できるよう見守り、必要に応じて声掛けをしましょう。

計画通りに学習を進められなかったときは、休日や定期考査などの機会に学習内容や方法を見直すなど、自分で調整しながら学習に取り組むことで、意欲が高まり「学ぶ力」が育まれます。

学習計画を立てる

△日までの課題が進んでいないな。今日から、毎日2ページずつ進めていこう。



英語が不安だな。寝る前の10分間で、予習として、次の授業に出てくる単語を暗記しよう。

学習内容や方法を見直す

次の定期考査では、10点アップしたいな。休日の学習時間をあと0分増やそう。



単元テストで関数がよく分かっていなかったから、自主学習として、関数の復習をやろう。

タブレット端末の活用

文部科学省が進めている「GIGAスクール」構想により、学校では子どもたち一人一人に貸与されたタブレット端末（以下、「端末」）を使った学習に取り組んでいます。あわせて、家庭に端末を持ち帰り、家庭学習での活用も始まっています。



学習に使えるおすすめ動画の紹介 「おかやま まなびとサーキ」



岡山県内の小学生・中学生や先生、保護者のみなさんに、学校の授業にとどまらない学びのヒントを見つけてもらうためのサイトです。県内の博物館や美術館、大学、企業等で撮影した動画や、自分の将来について、真剣に前向きに考える活動を応援するために作成した、岡山ゆかりのセンパイたちからのメッセージ動画（夢ボイス）もあります。このような動画を自主学習等に生かして、学びを深めることもできます。



施設別、教科別、市町村別に動画を検索できます。
動画を見て興味を持った施設には、子どもと一緒に足を運んでみてはいかがでしょうか。



こちらから
見るができます。

注意

端末の使用に当たって気を付けていただきたいこと

【安全・安心に活用するための留意点】

- 家庭での端末使用に関するルールを決めておく。
学校の端末は、学習に関係のないことに使わないなど、学校のルールを踏まえて家庭での使用のルールを話し合い、守らせるようにしましょう。
- インターネット上の犯罪等の被害者や加害者にならないようにするために、情報モラルを守って使うよう声を掛け、見守る。
自分や友達の個人情報の取扱い方や、心ない書き込みなどをしないことなど、自分の身を守るための使い方ができるよう考えさせましょう。

【健康面への配慮】

- 良い姿勢を保ち、目と端末の画面との距離を30cm以上離す。
- 30分に1回は、20秒以上、画面から目を離して遠くを見るなどして、目を休める時間を確保する。
- 部屋の明るさに合わせて、端末の画面の明るさを調整する。
- 就寝1時間前からは、端末の利用を控える。

